

市長の平成21年度 施政方針について



会田 幸一
議員

本定例会の冒頭で、市長の21年度施政方針が述べられました。その中でも「勇気を持った市政運営」という言葉が大変素晴らしいスローガンだと感じました。また、後半部分では、21年度の主要事業が述べられておりますが、非常にバランスがよく、期待が持てる内容だと感じております。そこで、特に力を入れます。事業について、市長に伺います。また、執行部には、その事業の概要や予定等を伺います。

○市長

21年度の目玉事業は、局地的集中豪雨対策で災害に強いまちづくりと、緊急経済対策としての各種事業があります。また、春日部駅周辺整備、南桜井駅周辺整備と、その2つを結ぶ藤塚米島線の整備を図ります。さらに、市立病院の再整備に取り組みます。

○総合政策部長

災害対策は、ユリノキ通り

地下道部に表示板や遮断機を整備し、備後公園用地に雨水一時貯留施設を整備します。緊急経済対策は、プレミアム付き商品券への支援をします。駅周辺整備等は、いずれも時間がかかりますが着工することと弾みがつくと考えます。

市立病院については、再整備基本構想を策定する予定です。

このほか

○農業振興について

○体育サポーター導入について

○国道4号バイパスと埼玉葛城農道との交差点に右折レーンの設置を

子どもの貧困 問題について



蛭間 靖造
議員

今日の日本の貧困問題は、社会問題です。日本の貧困が悪化の一途をたどっていることは、貧富の格差を示すジニ係数などから伺えます。

最近では、企業に切られる働く場所を失うといったワーキングプアが増えてきています。懸命に働いても食べてい

クレヨンしんちゃんの 活用について



鬼丸 裕史
議員

けない、家族を養えないといった社会になりつつあるので、このような社会は、たくさんの子どもたちにも、多くの悪影響を及ぼします。そこで、当市の子どもたちの貧困については、どのような状況にあるのか。また、当市の状況に対して、どのような対応をしていくのかについて伺います。

○福祉健康部長

子どもたちの貧困が悪化した要因としては、ひとり親家庭の貧困が拡大したことなどによるものです。当市の状況は、ひとり親家庭等医療費受給者数が増加傾向であることなどから、貧困状況にあると考えられます。今後は、所得が比較的少ない家庭で育つ子どもたちに対する福祉の重要性を認識するとともに、福祉の心を持って子育て支援施策を実施していく必要性があることも考慮してまいります。

このほか

○内牧のパチンコ店開業について

○東武野田線の春日部駅から運河駅間の複線の実現と藤の牛島駅北口の開設について

○春日部・羽田間の直通バス運行について

全国的にも、海外でも有名なアニメキャラクターであるクレヨンしんちゃんを、春日部を全国へ発信できる一つの方法です。クレヨンしんちゃんは、市民が共有する文化資産の一つですので、このクレヨンしんちゃんを活用して、当市のイメージアップを図ってみるのはいかがでしょうか。平成21年度施政方針の中で市長は、今年度の当市の子育て支援キャラクターとして、クレヨンしんちゃんを活用し、子育て世代を中心とする幅広い市民の皆さんに、当市の子育て施策をアピールしていきたいと述べていました。クレ



ヨンしんちゃんの力強い応援を受ける平成21年度の当市の子育て施策の事業展開に大いに期待しています。

そこで、現段階で考えられる平成21年度のクレヨンしんちゃんの具体的な活用方法について伺います。

○総合政策部長

当市のPR活動にクレヨンしんちゃんを活用することは、これまで多くの市民の皆さんから、たくさんの要望が寄せられています。

現在、当市では子育て支援マップへのイラストの表示、ホームページや広報かすかべへの掲載など、平成21年度のさまざまな子育て支援のキャラクターとして活用していきたいと考えています。

このほか

○「国づくり」シンポジウムの成果について

○学校教育について

子育て支援の充実を



卯月 武彦 議員

少子化が一段と進行し、大きな社会問題となっており、少子化に歯止めをかけるためにも、子育て支援がますます重要となっています。

こども医療費無料制度は、家庭の経済状況にかかわらず、必要なときに必要な医療を受けることができるものであり、子どもの命と健康を守るために、極めて重要な制度です。また、経済的な支援としても、重要な子育て支援の柱であり、その充実なくして子育て日本一はあり得ないと思います。

県内・外でも、中学卒業までの無料化が増えている中で、対象年齢を中学卒業まで引き上げていくことは、子育て日本一として当然だと思います。そこで、対象年齢を中学卒業まで拡大した場合の財政負担、及び対象年齢の拡大に対する市の考えを伺います。

○福祉健康部長
中学校卒業まで対象年齢を

拡大した場合の事業費は、入院・通院ともに拡大では約5億円、入院のみでは約5000万円の増額となります。

○市長

こども医療費の助成をはじめとする経済的な支援の必要性は十分認識していますが、経済的な支援だけでなく各種支援をバランスよく実施していく必要があると考えています。厳しい財政状況の中、限られた財源の中で知恵を絞りながら、日本一子育てしやすいまちを推進してまいります。

このほか

○武里団地の集約化に反対を



エンゼルドーム

市立病院の再建 充実について



滝澤 英明 議員

市立病院の再建・充実に伴う平成21年度の重点施策として、小児科をはじめとする医師を確保すること、入院患者数を218人とすること、3年後に病床稼働率を70%にすることなどの具体的な行動計画の目標が示されました。

当市には、現在300床を超える病院が市立病院を除いて2病院あります。そのほかにも数多くの民間病院がありますが、当市が市立病院を持つ意義について伺います。

○病院事業管理者

市立病院を持つ意義としては、1つ目に、当市の行政施策により運営され、市民の皆さんのための病院であること、2つ目に、当市の政策医療を担い、この地域で市民の皆さんの健康と命を守ること、3つ目に、心ある医療をもって市民の皆さんの健康な生活を支援し、さらに保健福祉の連携の中心的役割を担うことの

3項目が挙げられます。

○市長

市立病院は、開設されて以来半世紀にわたり、市民の皆さんの健康と命を守ってきました。まさにこのことが、市立病院を持つことの意義です。今後その存在意義が変わることはありませんので、市民の皆さんの健康と命を守る拠点として、当市の医療政策の要である市立病院の充実を図っていきたいと考えています。

このほか

○新学習指導要領に基づく取り組みについて

介護保険の見直しと市の対処について



村松 君子 議員

4月から介護保険の認定の見直しが実施されます。利用者から聞き取り調査をする際、判断の基準が変えられることで、複数の調査項目で「寝たきり」であっても「自立」と認定されることとなります。

これについては、あまりにひどい内容なので「見直しの

見直し」も始まっているようです。市としては、認定で介護度が下がり、必要な人がサービスが受けられなくなる事態とならないよう対処する必要があります。

全国行政サービス調査によれば、市は県内ワースト1でしたが、特に高齢者福祉が最低と指摘されたわけです。保険料の高さも大きな要因だと思います。

その保険料は、4月から平均8・6%の引き下げが行われることになりました。私どもは、引き下げは以前から主張してきたものであり、歓迎するものです。

しかし、特に低所得者層の滞納が多いのが実態です。さらにもっと引き下げを行い、低所得者層についての所得に着目した減免制度を作るべきです。

○健康保険担当部長

認定調査については、医師の意見書や特記事項を尊重し、一人一人の状況や生活に応じた、適切な介護度が判定できるように努めてまいります。

保険料の減免については、他市の状況も踏まえ、研究してまいります。

このほか

○障がい者福祉について

「市民の日」の イベントの充実について



栗原 信司
議員

「市民の日」記念イベントを充実させることで、市民の一人一人が春日部市に大きく愛着を感じていただけるようになると思います。市民の皆さまへの周知徹底を図るとともに、大きく関心を持っていただけるようなイベントを企画運営するべきではないでしょうか。もっと盛大に「市民の日」記念週間とか、「市民の日」記念月間と銘打ち、大きく市民に呼び掛けてはどうかでしょう。市民の日のイベントを充実させる取り組みについて答弁願います。

○総合政策部長

今後、より広く市民団体等に呼び掛け、名実ともに、多くの市民に愛着を持っていただける「市民の日」にしていきたいと思えます。

全市を挙げての取り組みにより、多くの市民が参加することで、新たな春日部市の魅力となるよう育てていく必要

があると考えています。自ら主体的に参加いただけるような内容となるよう、今後とも創意工夫に努めてまいります。

○市長

多くの市民の皆さまにご参加いただき、普及・定着を図り、市のPRにつながることも、まち全体が活気づくような「春日部市民の日」にしていきたいと考えています。

このほか

○市のPR・観光行政の充実について

○ドッグランの設置について

○幸齢福祉部・幸齢福祉課・幸齢介護課等に組織名変更を



市民の日関連イベント

春日部市 表彰制度について



岩谷 一弘
議員

春日部市表彰制度について、以下質問します。

①今年度見直した内容について

②迅速性について

③ホームページ活用について

④市民の日における表彰式について

○秘書広報防災担当部長

見直した内容は、制度を体系化したこと、新たな表彰の創設、審査体制の見直しの3点です。

名誉市民と功労、善行賞の間に今回、市民栄誉賞を創設し、さらに特別賞を新たに位置付け、できるだけ多くの方を表彰するようにしました。

また、審査体制も市職員のみでなく、市内各団体の代表者にも審査委員に入っていたべくようにしました。

善行賞については、時期を失しないように、審査方法の改善を行ってまいります。

広報かすかべのみでなく、

市ホームページへの受賞者の掲載については、4月掲載に向け準備してまいります。

表彰式については、市民の日に他のイベントと合わせて盛大に開催できるかどうか検討してまいります。

○市長

市民の皆さまのさまざまな功労、善行に感謝し、報いることができ、しかも表彰を受けられた方々が、真に喜んでいただける制度となるよう、最大限努めてまいります。

このほか

○春日部駅周辺まちづくりについて

春日部市における 雇用対策について



五十嵐みどり
議員

我が国は百年に一度という経済危機に見舞われており、雇用にも波及している点が大きな特徴と言われています。国は雇用対策として、民間委託により求職者を雇い入れる取組を支援する「ふるさと雇用再生基金事業」、「緊急雇用創出基金事業」を創設し

ました。この2つの基金事業について、本市の取り組み状況を伺います。

また、国や県の雇用支援情報を、広報かすかべに掲載することを提案します。

また、2つの基金事業のほかに、平成21年度予算では、雇用創出金が国から市に交付されます。これらの交付金の活用による雇用の創出について、市長の考えを伺います。

○環境経済部長

本市では、緊急雇用創出基金事業を活用して、市内の小中学校に臨時学校教育支援員の配置や、臨時小学校英語指導助手を配置する、学校教育支援事業が採択されています。国や県の雇用支援情報については、支援策の実施主体と協議しながら、広報紙に掲載していきたいと考えています。

○市長

地域経済を取り巻く環境は大変厳しい状況となっておりますが、このようなときこそ行政、農業、商業、工業者が互いに知恵を出し合い、協議しながら、雇用創出を含めた経済活性化のための支援や施策を積極的に推し進め、一丸となって乗り切っていかなければならないと考えています。

「子供一時預かり」
広域連携について



富樫 清年 議員

ファミリーサポート制度の広域連携について、地域が広がれば、利用者も増加して、より一層子育てに利用できるのではないのでしょうか。

県東南部の連携に春日部市も参入することができないでしょうか。また今、合併が取りざたされている杉戸町、宮代町との連携、さらに、さいたま市とはどうなのか、市の考えを伺います。

また、子育て日本一を提唱する市長として、ファミリーサポート事業の広域連携についてどのように考え、今後どう進めていくのか伺います。

○福祉健康部長
本市におけるファミリーサポート制度のさらなる充実が最優先課題であると認識していますので、全力を傾注していきたいと考えています。
まずは、5市1町における相互利用の実績等を見極めていきたいと考えています。

○市長

本市は、子育て日本一を掲げていますので、ファミリーサポート制度については、利用やニーズ、本市に適した方法などについて、研究したいと思います。

このほか

○介護サポーター制度について
○携帯電話使用に関する学校での取り組みは
○教育アドバイザー制度の導入について

銚子口橋建設の
状況を問う



阿部 喜一 議員

○南桜井駅北口前の市道9-3225号線の拡幅及び安全対策について

銚子口橋架橋に関し、18年前の平成3年6月を第1回目として、今回で24回目の一般質問を申し上げます。本来、銚子口橋は、昭和の時代に完成していなければならぬ経過がありました。一度つまずくと、このように数十年近く、引き継いだ私だけでも24回も

住宅火災対策
火災警報器の
設置について



片山いく子 議員

火災による死亡事故が年々増加し、特に高齢者の占める割合が高くなっていることから、高齢者宅への火災警報器の設置が急がれています。

春日部市では、春と秋の火災予防運動期間中、消防職員や女性消防団員が高齢者宅を訪問して、高齢者住宅防火診断とともに、火災警報器の設置のお願いや設置状況の確認をしていると伺いました。

しかし、実際に設置するにはどうしたらいいか分からない、業者に設置を依頼するのは経済的に厳しいなどの声も聞きます。高齢世帯への火災警報器の設置について、市内の電気工事店、家電店、工務店等と協定を結び、助成していただきたいと思いますが、どのようにお考えでしょうか。

○消防長

住宅火災では、焼死者のうち65歳以上の高齢者の占める割合が、全国では平成19年中

56・9%と高く、今後も高齢化の進展により増加すると懸念されています。

高齢者宅への普及には、今までの対策とは違う取り組みが必要と考えています。設置工事等の高齢者への支援策については、議員ご提案の購入及び取り付け代行、市内事業者との連携について、消防本部としても関係機関に呼び掛けをし、前向きに対処したいと考えています。

このほか

○地域医療、保健計画
○武里出張所について
○春日部駅東西通り抜け

